

社会福祉法人ひかりの家「こども発達支援センターひかりっこ」では、児童発達支援センターとして地域における中核機能の役割を果たすため、専門性の向上および地域連携の強化に取り組んでいます。

本年度における中核機能としての体制確保の取り組み状況は以下のとおりです。

---

## 1. 専門的支援機能の強化

発達支援・家族支援・地域支援の3本柱を基盤とし、保育士・児童発達支援管理責任者・看護師・心理士・作業療法士等の多職種によるチーム支援体制を維持・強化しました。

また、医療的ケア児や多様な発達ニーズに対応できるよう、個別支援計画に基づいた集団療育・個別療育を実施し、子ども一人ひとりの発達段階に応じた支援を行いました。

---

## 2. 地域支援・スーパーバイズ機能の充実

地域の保育所・幼稚園・関係機関への訪問支援(保育所等訪問支援)を通じて、集団生活への適応や環境調整に関する助言・支援を行いました。

また、地域の障害児支援事業所や関係機関に対して、専門職による助言・相談対応を実施し、地域全体の支援力向上に努めました。

---

## 3. 関係機関との連携強化

相談支援事業所、医療機関、行政機関との連携を強化し、切れ目のない支援体制の構築に取り組みました。

必要に応じてケース会議や情報共有を行い、子どもと家庭を中心とした包括的支援の実現を図りました。

---

#### 4. 保護者支援の充実

保護者に対する相談支援や発達理解のための助言を継続的に実施し、子育ての不安軽減と家庭での関わりの質向上を支援しました。

また、日々の療育を通じて、子どもの成長を保護者と共有し、共に支える関係づくりを重視しました。

---

#### 5. ひかりっこの特徴(施設の強み)

こども発達支援センターひかりっこは、以下の特徴を活かしながら支援を行っています。

- ・統合保育の考え方に基づき、障がいの有無にかかわらず共に育ち合う環境
  - ・自然素材や遊びを中心とした保育・療育による豊かな感性の育成
  - ・医療的ケアを含む多様なニーズへの対応体制
  - ・送迎を含めた利用しやすい支援環境の整備
  - ・地域とともに子どもの育ちを支える開かれた施設運営
- 

#### 6. 今後の方針

今後も、児童発達支援センターとしての中核機能をさらに高め、地域の障害児支援の拠点として、専門性の向上と地域連携の強化に継続して取り組んでまいります。